

～「(仮)みんなのひろば」検討ワークショップ第5回を開催しました～

現在大槌町では、検討が進められている広場「(仮)みんなのひろば」について、整備イメージを考えるワークショップを行っています。

今回はワークショップ第5回を開催いたしましたのでお知らせします。

## 第5回ワークショップ結果概要

### 第5回ワークショップの内容

◎開催日時：令和6年2月1日（木） 18：00～20：00

◎会 場：大槌町文化交流センターおしゃっち

◎テーマ：広場にみんなの想いをそそぎこもう！

9名の方にご参加いただきました。

①事務局作成プランをもとに、どの場所にどのような施設があると良いか、具体的な施設配置の内容を話し合いました。

②小中学生ワークショップで出た意見などもプランに組み込みました。



ワークショップの様子

### ワークショップの結果 ※意見の抜粋

#### これまでの意見を反映させた平面プランについての意見

- ・死角をなるべく作らず、大人がすぐに助けに行けるような遊具の造りと配置。
- ・水・砂遊び場はスケボー遊びの場と離す、スケボー・自転車をそれぞれエリア分けする、創作遊びとフィジカル遊びのエリアを分ける、など安全面を考慮した配置にする。
- ・水遊び場は衛生面（池の汚れ等）を考慮した計画にする。
- ・木は必要最低限の量で良い。
- ・芝生に加え普通の草むらもあつた方が良い。何もない広い空間はなるべく多くとりたい。
- ・屋根空間・日陰をできるだけ多くしたい。
- ・落書き広場はルールが必要になるため、常設でなくても良い。
- ・幼児や低学年の子も遊べる遊具の追加。
- ・シカ対策の検討。

#### 追加したい施設や要素・機能などについての意見

- 見 ・広場に入る動線にスロープ。
- ・避難所が分かる看板や公衆電話など。
- ・火を使った遊び（常設でなくても大人がいる時にキャンプ用品で行うなど）。
- ・各エリアに直接行くことができる動線。
- ・広場を囲う安全柵やシカ対策のフェンス。
- ・自然エネルギーの利用
- ・イルミネーション、キャラクターの配置など、ひょうたん島を引き立てる仕掛け。

#### ソフト面で検討が必要なところ

- ・全体の維持管理。
- ・スケボーや落書き広場、ペット等の、大人側が行う最低限のルール作り。
- ・落書き広場は常設ではなく、イベント的に行うことも考える。
- ・広場周辺に住む人がワークショップに来ていないため、内容を共有し管理面の検討を行いたい。

### まとめ

プランについてのハード面の意見は、安全面や衛生面を考慮した規模と配置についての意見が多く挙がりました。また、落書き広場を使った遊びについては、常設ではなくイベント的に仮設のもので対応すると良いのではないかという意見もありました。

追加したい機能などについては、出入口になる部分へのバリアフリー対応のスロープや、各エリアへのショートカット動線などの意見が多く挙がりました。

また、ソフト面での意見も多く挙がり、今後の維持管理、ルール作り、大人が行うべきハザード面での計画などについての意見が見られました。